

おわりに

ある^{しゃかい}社会が
その^{こうせいいん}構成員の^{ひとびと}いくらかの^し人々を^だ閉め出す^{ばあい}ような場合
それは^{よわ}弱く^{しゃかい}もろい社会ある

これは、1979^{ねん}年の^{こくさいしょうがいしゃとしこうどうけいかく}国際障害者年行動計画の^{いちぶん}一文です。この^{れきしてき}歴史的
課題の^{かだい}解決^{かいけつ}がなされないまま、30^{よねん}余年^へを経た^{いま}今、日本^{にほん}では、^{しゃかいほしょう}社会^{しゃかい}保障・^{ふくし}社会
福祉^{せいど}をはじめとする^{かくほうめん}制度^{してき}の^{むえんしゃかい}ほころび^{しょう}が各^{よわ}方面^{しゃかい}から^{むえんしゃかい}指摘^{しょう}され、「無縁社会」と
称^{しょう}される^{しょう}までになっています。

「^{すいしんかいぎ}推進会議」と「^{ぶかい}部会」は、「^{しょうがい}障害^{うむ}の有無^{こくみん}にかかわらず^わ国民^{へだ}が分け隔てら
れる^{きょうせいしゃかい}ことのない^{じつげん}共生社会」の^{せいどかいかく}実現^{めざ}とそのための^{めざ}制度改革^{めざ}を目指しています。
それは、とりもなおさず、「^{よわ}弱く^{しゃかい}もろい社会」から、^{ひとり}一人^{そんざい}ひとりの^{ころ}存在^{ころ}が心
より^{たいせつ}大切^{だれ}にされ、^{はいじよ}誰もが^{しゃかいてき}排除^{ほうせつ}されることなく^{ほんとう}社会的に^{ほんとう}包摂^{ほんとう}される、^{ほんとう}本当
に^{ゆた}豊かな^{しゃかい}社会^{きよ}づくりに^{かくしん}寄与^{かくしん}するものであると^{かくしん}確信^{かくしん}しています。

^{じしん}地震^{つなみ}と^{げんぱつ}津波^{じこ}、^{みぞう}原発^{ひがい}事故^{ひがしにほん}によって^{ひがしにほん}未曾有^{ひがしにほん}の^{ひがしにほん}被害^{ひがしにほん}が^{ひがしにほん}もたらされた^{ひがしにほん}東日本
^{だいしんさい}大震災^{しょうがいしゃ}は、^{ふく}障害者^{ひさいち}を含む^{ひと}被災地^{おお}の人たち^{おお}に^{おお}きわめて^{おお}大きな^{おお}困難^{おお}を与え
ています。^{ひさい}被災^{みなさま}された^{ころ}皆^{みま}様に^{もう}心^あより^あお見舞い^あを^あ申し^あ上げます。

今、日本^{いま}中^{にほん}が^{じゅう}協力^{きょうりよく}して^{さいがい}災害^{しんせい}からの^{ふっこう}新生^{ふっこう}・復興^{ふっこう}を^{ふっこう}すすめ、^{ふっこう}すべての^{ふっこう}人が
^{そんちょう}尊重^{あんしん}され、^く安心^{しゃかい}して^{つく}暮らせる^{ほんこつかくていげん}社会^{ほんこつかくていげん}を作ろう^{ほんこつかくていげん}としています。^{ほんこつかくていげん}本骨格^{ほんこつかくていげん}提言^{ほんこつかくていげん}が
^{きょうせいしゃかい}めざす^{しんせい}共生社会^{ふっこう}は、この^{しんせい}新生^{にほん}・復興^{しゃかい}の^{ふかけつ}日本社会^{いちぶ}の^{いちぶ}不可欠^{いちぶ}の一部^{いちぶ}となると
^{しん}信^{しょうがいしゃ}じます。^{ひと}障害者^{はたら}がその^{しゃかいかつどう}人^くらしく^く働^くいたり、^く社会^く活動^くしながら、^く暮^くらせ
る^{しゃかい}社会^{ひと}は^くすべての^{しゃかい}人が^く暮^くらしやすい^く社会^くでもあります。

そうした^{てん}点^{せいふ}からも、^{ほんこつかくていげん}政府^うが^と本骨格^{しょうがいしゃそうごうふくしほう}提言^{しょうがいしゃそうごうふくしほう}を受け^{しょうがいしゃそうごうふくしほう}止め、^{しょうがいしゃそうごうふくしほう}障害者^{しょうがいしゃそうごうふくしほう}総合福祉^{しょうがいしゃそうごうふくしほう}法^{しょうがいしゃそうごうふくしほう}
が^{せいてい}制定^{じつし}・^{ころ}実施^{ねが}されることを^{ころ}心^{ねが}より^{ねが}願^{ねが}うものです。